

とちぎで農業する人を募集します

就農準備校

とちぎ

農業未来塾

申込
受付期間

令和4(2022)年12月6日(火)～
令和5(2023)年2月2日(木)必着

令和5年度

研修生
募集

あなたの農業がここから始まる

◆農業で夢をかなえたい人 ◆独立して農業を始めたい人 ◆農業を実践的に学びたい人

就農準備基礎研修

①木曜日コース 研修曜日：木曜日

②土曜日コース 研修曜日：土曜日

研修期間：4～1月(30日)

募集人員：各40名 受講料：15,000円

農業経営や栽培技術の基本的内容を中心とした講義、
実習、現地視察等

就農準備専門研修Ⅰコース

研修曜日：月・水・金曜日 研修期間：4～3月(100日)

募集人員：60名 いちご：20名 施設野菜：15名
露地野菜：15名 果樹：10名

受講料：50,000円

就農準備専門研修Ⅱコース(実践研修)

研修曜日：月・水・金曜日の専門研修Ⅰコースと、
火・木曜日の指導農業者による現地実習

研修期間：4～3月(180日)

募集人員：Ⅰの範囲内で5名程度

受講料：90,000円

いちご・施設野菜・露地野菜・果樹の農業経営・栽培技術の
専門的内容に関する講義、実習、現地視察等



栃林農農業大学校

令和5年度研修生募集のご案内

Uターン、Iターンなどにより、栃木県内で農業経営を始めたいと考えている方が、円滑に就農できるよう、基礎的な農業経営の知識や作物の栽培技術などを学べる研修の受講者を募集します。

受講要件

新たに栃木県内で本格的な農業経営を始めたいと考えている方。

※家庭菜園や趣味の農業志向者は対象外です。

受講申込の方法

◆受講申込みに必要な書類等

- 受講申込書：様式1
 - 就農計画書：様式2
 - 返信用封筒：**2通**（定形封筒長3、宛名・住所を記入し、**必ず84円切手を貼ってください。**）
- ※返信用封筒は、面談通知と受講決定通知に使用します。

◆提出先

〒321-3233 宇都宮市上籠谷町1145-1 栃木県農業大学校 研修チーム

◆受付期間（郵送・持参）

令和4(2022)年12月6日(火)～令和5(2023)年2月2日(木) 必着

（本校に直接持参する場合は、8:30～17:15、土日、祝日及び令和4(2022)年12月29日(木)～令和5(2023)年1月3日(火)を除く） ※ファクシミリ、Eメールでの受付はいたしません。

受講者の決定

受講者は、受講申込書等の関係書類、面談によって決定します。

◆関係書類により要件に合った方は、面談日程等を通知します。申込状況によっては、日程の変更もあります。

- ◆面談日：就農準備基礎研修 木曜日コース 令和5(2023)年2月16日(木)
- 同上 土曜日コース 令和5(2023)年2月18日(土)
- 就農準備専門研修 Iコース 令和5(2023)年2月15日(水)
- 同上 IIコース（実践研修） 令和5(2023)年2月13日(月)

◆受講決定：令和5(2023)年3月上旬に本人宛てに郵送します。

なお、専門研修IIコースについては、現地実習先が決定してから、3月末までに受講の可否を通知します。

※電話等による問い合わせには応じません。



コースの構成

研修コース		研修内容	研修期間 (日数)	研修曜日	募集人員	受講料
1 就農準備 基礎研修	①木曜日コース	農業経営や栽培技術の基本的内容を 中心とした講義、実習、現地視察等	4～1月 (30日)	木曜日	40名	15,000円
	②土曜日コース			土曜日	40名	
2 就農準備 専門研修	I コース	いちご・施設野菜・ 露地野菜・果樹の農業経営・栽培技術の 専門的内容に関する講義、実習、現地 視察等	4～3月 (100日)	月・水・金	60名 (いちご：20名) (施設野菜：15名) (露地野菜：15名) (果樹：10名) ※IIは、上記の範囲 内で5名程度	50,000円
	II コース (実践研修)		4～3月 (180日)	月・水・金 (Iコース共通) + 火・木 (現地農家実習)		90,000円

※研修時間は原則として9:00～16:00です。

※研修日の他に、圃場・作物管理のための登校日があります。

※就農準備基礎研修の木曜日コース、土曜日コースは同じ内容です。どちらでも受講可能な場合は、受講者数に応じて調整する場合があります。

※複数コースの同時受講はできません。

※受講料の他、テキスト代、傷害保険加入料等として10,000円程度の費用が必要です。



カリキュラム

各コースとも講義と実習で構成され、

- 作物を作るために必要な基礎的知識（土壌肥料、病害虫防除等）
- 農業経営に必要な基礎的知識（農業簿記、経営管理、各種農業制度等）
- 農作物を販売するために必要な基礎的知識（マーケティング、農業の6次産業化等）

について研修します。

また、就農準備専門研修は基礎的研修に加え、作物を限定した、より専門的な知識の修得、実習を行います。

新規就農者育成総合対策(就農準備資金)への対応

「専門研修IIコース(実践研修)」受講者で、一定の要件を満たす方は、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の申請が可能です。なお、当該資金の交付を受けるためには、別途審査がありますので御留意ください。詳細は、個別に御相談ください。

新規就農者育成総合対策とは、次世代を担う農業者を目指す人(就農予定時の年齢が原則50歳未満)に、就農前の研修を支援する資金(就農準備資金)と就農直後の経営確立を支援する資金(経営開始資金)を交付する国の事業です。この内、就農準備資金は、栃木県が認める研修機関で研修を行う就農希望者で、一定の要件を満たす場合、最長2年、原則最大150万円/年を交付するものです。

※事業内容は令和4年度のものであり、今後、事業内容等が変更となる可能性があります。

とちぎ農業未来塾修了生からのメッセージ

専門研修IIコース・いちご
(R2年度修了)

梁島晃弘さん



就農する前は会社勤めをしていましたが、兼業農家だった両親の定年を機に、農家の道を目指しました。新しく収益性の高いいちごでの栽培を考えていたところ、とちぎ農業未来塾の存在を知り、いちご専門コースを受講しました。未来塾では、校内の講義・実習にて農業の基礎や栽培技術を学び、農家研修にてよりリアルな農業経営を体験することができました。おかげさまで、栽培1作目では大きな失敗もなく、県平均を大きく上回る反収を得ることができました。

また研修修了後も、未来塾の同期とは定期的に情報交換や現地検討をされていて、お互い良い刺激を与え合いながら、切磋琢磨していける仲間となっています。今後は未来塾で学んだことをベースに、より良い栽培方法、品質を目指し、日本の農業を支える担い手となれるよう努力していきたいと思っています。

専門研修Iコース・施設野菜
(R元年度修了)

岡本謙一さん



私の家は元々米作との兼業農家でしたが、農業で生計を立てていこうと一念発起し、会社員を辞め就農を決めました。

本格的に就農となると、米作だけではと思い、各所へ相談していくと米作とスケジュールの相性がよく、単価の安定していたアスパラガスに魅力を感じ、アスパラガスを半促成栽培にて栽培していくことを決めました。

農業の知識・経験がまったくない状況中、「とちぎ農業未来塾」を知り、基礎的な知識や多品目の栽培知識を学べ、新規就農しようと志を同じくする仲間と出会うこともでき、とても有意義な受講でした。未来塾で学んだ事を生かし、今後は通年で栽培できるよう、多品目栽培も視野にいれています。

人と人のつながりを大事にし、たくさん悩みながら農業を楽しんでいきたいと思っています。

専門研修Iコース・果樹
(R3年度修了)

栗田典明さん



私は、非農家出身で車業界に勤めていましたが、従兄の作業を手伝った事がきっかけで農業に興味を湧き、就農したいと考えるようになりました。農業振興事務所から、未来塾で果樹を学べる事を教えてもらい、基礎を学ぶために未来塾の受講を決めました。専門コースの果樹では、色々な種類の本々があるので、既に品目が決まっている人、これから決める人にとって良い環境だと思います。私は規模を拡大する時の事も考えられたので、とても満足でした。

また、専門コースでは他のコースの方々と一緒に勉強する時間があり、その時に様々な情報交換や人脈作りが出来るのが魅力的です。特に、就農してから先輩農家以外で色々と話せる同期が居ることは心強い事だと思います。

基礎研修・土曜日コース
(R3年度修了)

河村恵美さん



私は専業農家の出身で、三姉妹の次女です。以前の職業は事務職だったため、農業の知識はありませんでした。8年前に母が体調を崩したため、休みの日に手伝いに行くようになってから農業に興味を持ち始めました。しかし、農業の確定申告書の作成を手伝ってみると、農業所得で子供達の教育費を賄うのは難しいと思い、実家の農業について今後どうすべきか悩んでいました。そこで子供達の独立を機に夫と話し合い、実家の手伝いをしながら学べる場として、とちぎ農業未来塾の基礎研修土曜コースを受講しました。未来塾では、農業の基礎として農薬の散布や農業機械などを実際に動かして学ぶことができ、すぐに役に立ちました。現在は、父と一緒に水稲とアスパラガスと露地野菜を栽培しています。未来塾の仲間やアスパラガス部会、JA、農業振興事務所など分からないことを相談できる場所が出来、沢山のひと繋がる事が出来て嬉しく思っています。

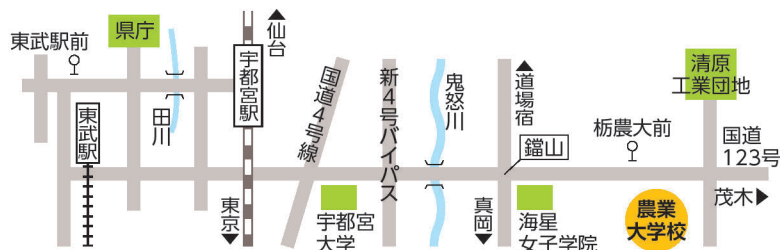
問い合わせ先

栃木県農業大学校 研修チーム

〒321-3233 宇都宮市上籠谷町1145-1

電話 028-667-4944

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g63/>



令和5年度就農準備校「とちぎ農業未来塾」受講申込書

令和 年 月 日

顔写真を貼付
(4 × 3cm 程度)

栃木県農業大学校長 様

ふりがな
氏 名

私は「とちぎ農業未来塾」の研修を受講したいので、関係書類を添えて申込みます。

1 受講コース及び連絡先等

希望コース 【 】の中から 一つ〇で囲む	・就農準備基礎研修	【 木曜日コース ・ 土曜日コース 】		
	・就農準備専門研修	I コース	【 いちご ・ 施設野菜 ・ 露地野菜 ・ 果樹 】	
住所等	郵便番号	-		
	住所 (建物名・番号まで記載)	県 市・町		
	電話番号			
	携帯電話番号			
	メールアドレス	@		
生年月日	西暦 年 月 日 (歳)	職業	現在 (申込時)	
最終学歴	<input type="checkbox"/> (農業系学校の卒業者等は <input checked="" type="checkbox"/>)		令和5年4月 (予定)	

※就農準備基礎研修は希望するコースを〇で囲んでください。どちらでも受講可能な場合は、受講者数に応じて調整する場合があります。

※就農準備専門研修はI又は、IIおよび専攻名を〇で囲んでください。

※就農準備専門研修IIコース(実践研修)受講者のうち、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の要件を満たしている者は同事業への申請が可能ですが、事業の採択には別途審査があります。なお、同事業については国の事業のため、今後、事業内容等が変更となる可能性があります。

2 受講を希望する理由

3 就農に対する家族の意向

- ① 同意を得ている ② 同意を得ていない

4 農業経験

- ① 全くない ② 家庭菜園程度の経験あり ③ 兼業農家で時々実践 ④ 専業農家で実践
⑤ 農業研修の経験あり (研修名: 期間:)

5 その他 (健康上不安なことなどがあたら御記入願います。)

とちぎ農業未来塾の研修及び就農支援に係る「個人情報の取扱い」について

栃木県農業大学校は、受講申込書及び就農計画書の内容については、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)等に基づき適正に管理するとともに、研修及び就農支援に資するため必要に応じて市町村及び関係機関等へ提供する場合があります。

上記「個人情報の取扱い」に同意します。 氏名 _____

就 農 計 画 書

氏名 _____

1 就農予定時期 西暦 _____ 年 _____ 月 (※既に就農している者は就農した年)

2 就農予定地 (又は希望地) _____ 市・町

3 家族構成 (※同居および農業経営に参画する者)

①続柄 (年齢 _____)、②続柄 (年齢 _____)、③続柄 (年齢 _____)

④続柄 (年齢 _____)、⑤続柄 (年齢 _____)、⑥続柄 (年齢 _____)

4 農業経営等の構想 (取組作物、販売等の考え方など)

経営の規模等

区分	主な作物	面積 (㎡)	目標所得金額 (万円)	労働力
現 状				本人以外 _____ 名 (具体的な続柄等)
	計			
就農時				本人以外 _____ 名 (具体的な続柄等)
	計			
就 農 5 年後				本人以外 _____ 名 (具体的な続柄等)
	計			

5 農地・施設等の取得状況

区分	取得済	今後取得見込み・希望	方法
農地	・所在地 (_____ 市・町) ・面積 水田 (_____ ㎡) 畑 (_____ ㎡) その他 (_____ ㎡)	・所在地 (_____ 市・町) ・面積 水田 (_____ ㎡) 畑 (_____ ㎡) その他 (_____ ㎡)	・借 地 ・購 入 自己資金 各種融資 ・その他
施設 機械	・ハウス等 (_____ ㎡) ・機械類 (_____)	・ハウス等 (_____ ㎡) ・機械類 (_____)	・借りる ・購 入 自己資金 各種融資 ・その他

* 10a (1,000㎡) ÷ 1 反

6 当面の生活資金の確保 (※農業収入を得られるまでの数年間の生活資金)

有 ・ 無